

令和 年度 有漢義務教育学校<仮称> グランドビジョン (案)

学校教育目標

知・徳・体の調和のとれた、たくましく生きる児童・生徒の育成

学校経営目標

義務教育学校とコミュニティー・スクールで創る地域とともにある学校

めざす児童生徒像

- 主体的に学習する児童生徒 (かしこく)
- 人・物・時間を大切にする児童生徒 (やさしく)
- 進んで心身を鍛える児童生徒 (たくましく)

めざす学校像

- 地域とともに成長する学校
- 9年間を見通した教育活動を進める学校
- 児童生徒が誇りを感じる学校

めざす教職員像

- 分かる喜び、学ぶ楽しさを実感させる教職員
- 児童生徒や保護者から信頼される教職員
- 小中のよさをいかして常に研鑽に励む教職員

教育研究の推進

研究主題 「 」

本校で育成する「資質・能力」

- | | |
|-----------|-------------------------------------|
| (1) 課題解決力 | 課題設定力、情報活用力、論理的思考力 |
| (2) 切り拓く力 | 主体性、ICT活用力、英語力 |
| (3) 伝え合う力 | コミュニケーション力、プレゼンテーション力
多様性に対する適応力 |

【英語力】

外国語と楽しく出会い、目的を持って学び、グローバル社会に踏み出す力を育成する。

【ICT活用力】

情報化社会を豊に生きるために、効果的なICT活用の実践を通して、情報活用力の育成を図る。

【プレゼンテーション力】

多様性に富む社会において、自らの考えを伝えながら他者と協働するための論理的な表現力を養う。

地域とともに成長し、社会に開かれた教育課程の実現に向けたコミュニティー・スクール

有漢こども園との連携 (15年間の学びと15年間の育ち)

義務教育学校の特色を生かした教育・・・教科担任制、ファーストステージ、セカンドステージ
異学年で行う活動の活性化
特別支援教育の充実・・・一人ひとりの障害の実態や発達段階に応じたきめ細かな指導
進路指導の充実・・・基礎的・凡用的能力の育成、体験的活動の充実

主体的・対話的で深い学びの実現 （「アクティブ・ラーニング」の視点からの授業改善）について（イメージ）

「主体的・対話的で深い学び」の視点に立った授業改善を行うことで、学校教育における質の高い学びを実現し、学習内容を深く理解し、資質・能力を身に付け、生涯にわたって能動的（アクティブ）に学び続けるようにすること

【主体的な学び】

学ぶことに興味や関心を持ち、自己のキャリア形成の方向性と関連付けながら、見通しを持って粘り強く取り組み、自己の学習活動を振り返って次につなげる「**主体的な学び**」が実現できているか。

【例】

- 学ぶことに興味や関心を持ち、毎時間、見通しを持って粘り強く取り組むとともに、自らの学習をまとめ振り返り、次の学習につなげる
- 「キャリア・パスポート（仮称）」などを活用し、自らの学習状況やキャリア形成を見通したり、振り返ったりする



学びを人生や社会に
生かそうとする
**学びに向かう力・
人間性等の涵養**

生きて働く
**知識・技能の
習得**

未知の状況にも
対応できる
**思考力・判断力・表現力
等の育成**

主体的な学び
対話的な学び

深い学び



【深い学び】

習得・活用・探究という学びの過程の中で、各教科等の特質に応じた「見方・考え方」を働かせながら、知識を相互に関連付けてより深く理解したり、情報を精査して考えを形成したり、問題を見いだして解決策を考えたり、思いや考えを基に創造したりすることに向かう「**深い学び**」が実現できているか。

【例】

- 事象の中から自ら問いを見だし、課題の追究、課題の解決を行う探究の過程に取り組む
- 精査した情報を基に自分の考えを形成したり、目的や場面、状況等に応じて伝え合ったり、考えを伝え合うことを通して集団としての考えを形成したりしていく
- 感性を働かせて、思いや考えを基に、豊かに意味や価値を創造していく



【対話的な学び】

子供同士の協働、教職員や地域の人との対話、先哲の考え方を手掛かりに考えること等を通じ、自己の考えを広げ深める「**対話的な学び**」が実現できているか。

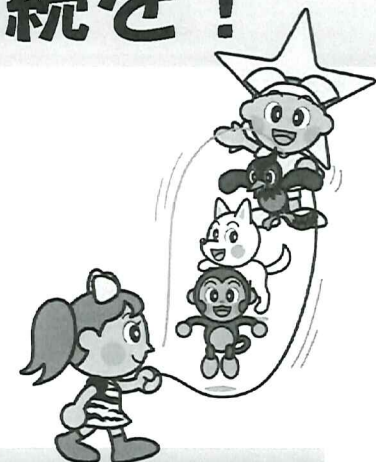
【例】

- 実社会で働く人々が連携・協働して社会に見られる課題を解決している姿を調べたり、実社会の人々の話を聞いたりすることで自らの考えを広める
- あらかじめ個人で考えたことを、意見交換したり、議論したり、することで新たな考え方に気が付いたり、自分の考えをより妥当なものとしたりする
- 子供同士の対話に加え、子供と教員、子供と地域の人、本を通して本の作者などとの対話を図る

〈視点2〉 課題改善を図る徹底指導の連続を！

一単位時間の授業5 (ファイブ)

②自分で考え、表現する時間を確保する



・交流する前に自分の考えを持っているか確認

・児童生徒が、自分の考えをもつために教員は思考・表現の手掛かりとなるものを示したり、準備したりします。



「まず、話し合ってみましょう」と、いきなり話し合い活動にしているませんか？

・話し合い活動は目的ではなく手段であり、身に付けさせたい力を意図して行わせます